

SAFETYDATASHEET(製品安全データシート)

1.製品及び会社情報

【製品名】 国産エチルプロ

【会社名】 株式会社ケイトオブ東京

【住所】 東京都渋谷区神宮前 6-19-20 第 15 新井ビル 7 階

【電話番号】 03-6427-7797

【担当部署】 商品部管理課

【使用上の制限】 推奨用途以外に使用される場合には、事前に安全性をご確認ください。

本製品が体内に留意する恐れのあるような用途には使用しないでください。

2.危険有害性の要約

皮膚に付着したままにすると炎症を起こす場合がある。蒸気を吸入すると、目、鼻、のどなどの粘膜を刺激する場合がある。

最重要危険有害性	: 蒸気を吸入すると、目、鼻、のど等の粘膜を刺激する。
有害性	: 蒸気を吸入すると、目、鼻、のど等の粘膜を刺激する
環境影響	: 現在のところ知見なし。
物理的及び化学的危険性	: 水や塩基性物質に接触したとき、並びに、布、皮などの染み込みやすいものに多量に付着したときに重合し、かなり発熱する。その際、皮膚に接触すると火傷を起こす。

【GHS 分類】

物理的危険性

爆発物	: 分類対象外
可燃性又は引火性ガス	: 分類対象外
エアゾール	: 分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	: 分類対象外
高圧ガス	: 分類対象外

引火性液体	: 区分 4
可燃性固体	: 分類対象外
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 分類対象外
酸化性液体	: 分類対象外
酸化性固体	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない

健康有害性

急性毒性（経口）	: 区分外
急性毒性（経皮）	: 区分外
急性毒性（吸入：気体）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない
急性毒性（吸入：粉じん：ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性又は皮膚刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分 2 A
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分 1
生殖細胞変異原性	: 区分 1 B
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分 3
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

環境有害性

水性環境有害性（急性） : 区分 3
水性環境有害性（長期間） : 分類できない
オゾン層への有害性 : 分類できない

【GHS ラベル要素】

絵表示



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: 可燃性液体。アレルギー性皮膚反応を起こす恐れ。眼刺激呼吸器への刺激の恐れ。

注意書き

【安全対策】

: 熱・火花・高温のような着火源から遠ざけること。禁煙、ミスト・蒸気の吸入を

避けること。

取扱後はよく手を洗うこと。換気の良い場所で使用すること。

保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用すること。

【応急処置】

: 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。

眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

硬化物が眼球を傷つける可能性があるため、眼をこすったり、触ったりなど自分で剥がそうとせず医師の診断・手当を受けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当を受けること。吸入した場合は、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。火災の際は、粉末消火剤などを使用すること。

3.組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名又は一般名	: 2-シアノアクリル酸エチルを主成分とする混合物
全成分	: エチルシアノアクリレート、シアノアクリレート、ポリアルキルメタクリレート、ポリイソシアネート、カーボンブラック、水、NMP

分類に寄与する不純物及び安定化添加物：情報無し

4.応急処置

吸引した場合 : 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静を保つ。応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 直ちにまぶたを開いて、流水で 15 分以上洗浄する。症状がでた場合等、必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ 1~2 杯の水又は牛乳を飲ませて希釈し、直ちに医師の処置を受ける。意識がない場合は口から何も与えてはならない。

5.火災時の措置

適した消火剤 : 乾燥砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤使用してはならない消火剤
: 棒状注水、水バケツ

消化を行う者の保護 : 耐薬品性着衣を着用する。適切な呼吸用保護具を用いる

特有の危険有害性 : 不完全燃焼、高温等により有害物質が生成する恐れがある。

可燃性液体特有の消化方法 : 関係者以外立入禁止。安全に実行可能であればすべての着火源を除去する事。
危険で無ければ危険区域から容器を移動する。風向きに注意すること。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 一度に多量の接着剤を拭き取らない。布などに接着剤が多量に染み込むと急速に重合し、発熱し、刺激の有る白煙を上げることがある。
その際、皮膚に接触すると火傷を起こす。

環境に対する注意事項 : 流出した商品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
刺激性が強いので周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な処置を行う。

除去方法 : ポリエチレン製手袋を着用し、布などで素早く少量ずつ拭き取る。

7.取扱い及び保管上の注意

取り扱い

- 技術的対策 : 火気注意
皮膚を瞬間に強力に接着するため、使用に際して十分に注意すること。
接着剤の硬化物が靴底につくと滑りやすくなるので注意する。
- 注意事項 : 臭気が滞留しないように局所排気装置の設置、全体換気を適正に行うことが望ましい。
- 安全取り扱い注意事項 : 塩基性物質と接触しないように取り扱う。

保管

- 適切な保管条件 : 塩基性物質との混在を避け、湿気の少ない冷暗所に保管する。
その他、消防法、労働安全衛生法等の法令に定める事に従う。
- 安全な容器包装材料 : アルミニウム、ポリエチレン、ポリプロピレン

8.暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 排気装置などの換気設備を設置する。
- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 未設定

保護具

- 呼吸の保護具 : 作業用簡易マスクを着用する。

手の保護具	: ポリエチレン製手袋を着用する。
目の保護具	: 側板付き普通メガネ、ゴーグル型メガネなどを必ず着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 実験用エプロン、液体飛沫から眼、顔及び肌を保護する。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: 液体
色	: 黒色
臭い	: 刺激的な特有の臭気
pH	: データなし
融点	: データなし
沸点	: 180°C以上
引火点	: 75°C
発火点	: 485°C
蒸気圧	: 1Paat25°C
比重	: 0.9~1.1at25°C
密度	: 0.9~1.1
蒸発速度	: データなし
溶解度	: 水には不溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし

10.安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	: 湿気との接触が無ければ安定である。高温・高湿・直射日光により、発熱を伴い重合する事がある。
危険有害反応可能性	: 水との接触、混触危険物との混合で重合を起こす危険性がある。
避けるべき条件	: 熱、水、湿気、裸火、過熱、直射日光、高温
危険有害な分解生成物	: データなし

11.有害性情報

急性毒性（経口）	：情報無し
急性毒性（経皮）	：情報無し
急性毒性（吸入：蒸気）	：情報無し
皮膚腐食性／刺激性	：情報無し
眼に対する重篤な損傷／刺激性	：区分 2 A
皮膚感作性	：区分 1
生殖細胞変異原性	：区分 1 B
発がん性	：情報無し
生殖毒性	：情報無し
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	：区分 3
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：情報無し
吸引性呼吸器有害性	：情報無し

12.環境影響情報

水性環境有害性（急性）	：区分 3
水性環境有害性（慢性）	：情報無し
生体蓄積性	：情報無し
土壌中の移動性	：情報無し
オゾン層への有害性	：情報無し

13.廃棄上の注意

内容物・容器を「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って廃棄すること。廃棄する場合は、液を少量づつ直射日光に当てるか、又は大量の水の中に徐々に滴下しながら重合、固化させて廃プラスチックとして許可を受けた専門業者に処分委託する。

14.輸送上の注意

国内規制

陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
国連分類	: 分類基準に該当しない。
国連番号	: 分類基準に該当しない。
I M O	: 該当しない
I A T A	: 該当しない

15.適用法令

消防法	: 危険物第 4 類 3 石油類 危険等級 III (非水溶性液体) (2000L)
労働安全衛生法	: 第 57 条の 2 第 1 項 (通知対象物エチル 2-シアノアクリレート) (通知対象物カーボンブラック)
化学物質管理促進法	: 該当しない
毒劇法	: 該当しない

16.その他の情報

参考文献 : N I T E 公開データ

・記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保障もなすものではありません。又記載事項は通常の実施を前提としたものであるため、特別な取扱いをする場合には新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

・全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の

責任において、安全な使用条件を設定して下さいようお願いいたします。

- ・この情報は新しい知見及び試験、法令の改正などにより改正されることがあります。
- ・以前に取得された本製品の安全データシートをお持ちの場合は、すみやかに破棄して下さい。